

歴史・人類学サブプログラム

専門科目（歴人共通）

| 科目番号    | 科目名             | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 担当教員            | 授業概要  | 備考     |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|-----|-----------------|---|--------|
| OBBAD00 | 歴史・人類学研究演習 IA   | 2    | 1.0 | 1      | 春AB  | 応談  | 歴史・人類学サブプログラム教員 | 歴史・人類学サブプログラム後期1年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文作成に着手するため、高度で独創的な研究能力を身に付ける。研究テーマの設定、既存の先行研究との議論について領域ごとに教員・大学院生の全員が出席し最新の研究成果について討論する。 | 詳細後日周知 |
| OBBAD01 | 歴史・人類学研究演習 IB   | 2    | 1.0 | 1      | 秋AB  | 応談  | 歴史・人類学サブプログラム教員 | 歴史・人類学サブプログラム後期1年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の基礎となる学術論文作成を図り、従来の研究史との関係を明確化する。領域ごとに教員・大学院生の全員が出席し最新の研究成果について討論する。                    | 詳細後日周知 |
| OBBAD02 | 歴史・人類学研究演習 IIA  | 2    | 1.0 | 2      | 春AB  | 応談  | 歴史・人類学サブプログラム教員 | 歴史・人類学サブプログラム後期2年生を対象とする春学期の研究演習。博士論文の執筆に向けて、全体的な構想と補強を行いながら独創性のある研究能力の獲得を目指す。領域ごとに教員・大学院生の全員が出席しての討論を経て、より高次の課題設定を目指す。       | 詳細後日周知 |
| OBBAD03 | 歴史・人類学研究演習 IIB  | 2    | 1.0 | 2      | 秋AB  | 応談  | 歴史・人類学サブプログラム教員 | 歴史・人類学サブプログラム後期2年生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の構想を具体化させ、独創性のある研究成果の発表を目指す。領域ごとに教員・大学院生の全員が出席しての討論を経て、より高次の課題設定を目指す。                    | 詳細後日周知 |
| OBBAD04 | 歴史・人類学研究演習 IIIA | 2    | 1.0 | 3      | 春AB  | 応談  | 歴史・人類学サブプログラム教員 | 歴史・人類学サブプログラム後期3年次生を対象とする春学期の研究演習。研究史上新たな問題視角・方法、知見を備えた博士論文の全体構想について領域ごとに教員・大学院生の全員が出席して討論し、博士論文の完成に向けて具体的な指導を受ける。            | 詳細後日周知 |
| OBBAD05 | 歴史・人類学研究演習 IIIB | 2    | 1.0 | 3      | 秋AB  | 応談  | 歴史・人類学サブプログラム教員 | 歴史・人類学サブプログラム後期3年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の結論について領域ごとに教員・大学院生の全員の出席のもと討論し、論文としての理論性を高め、質的な充実を図り博士論文を完成させる。                        | 詳細後日周知 |

専門科目（歴史学分野）

| 科目番号    | 科目名        | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期    | 曜時間 | 担当教員          | 授業概要   | 備考            |
|---------|------------|------|-----|--------|---------|-----|---------------|--|---------------|
| OBBADG6 | 歴史地理学研究実習A | 3    | 2.0 | 1-3    | 春C夏季休業中 | 応談  | 中西 僚太郎, 清水 克志 | 博士後期課程段階に応じた歴史地理学分野での高度な学術論文・学術報告を作成できる調査能力を養うことを目的とする。特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を実地で指導する。具体的には、調査の計画立案から、自然景観および人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの方法を実地で指導する。受講生の積極的・主体的な取り組みを重視し、フィールドでの学習の過程で、自ら問題を見出すこともねらいとする。        | 02DC576と同一。対面 |
| OBBADG7 | 歴史地理学研究実習B | 3    | 2.0 | 1-3    | 秋ABC    | 応談  | 中西 僚太郎, 清水 克志 | 博士後期課程段階に応じた歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導し、歴史地理学分野での高度な学術論文・学術報告を作成できる能力を養うことを目的とする。具体的には、歴史地理学研究実習Aにおける自然景観・人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの結果を、どのように分析・表現して、学術論文・学術報告としてまとめることができるのかを指導する。授業の最後に受講生は調査結果のレポートを作成して提出する。 | 02DC577と同一。対面 |

専門科目（人類学分野）

| 科目番号    | 科目名            | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 担当教員                             | 授業概要   | 備考                      |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|----------------------------------|--|-------------------------|
| OBBADJ6 | 先史学・考古学研究実習    | 3    | 4.0 | 1-3    | 秋B   | 集中  | 谷口 陽子, 滝沢 誠, 三宅 裕, 前田 修, 板橋 悠    | 発掘調査や測量調査などのフィールドワークに主導的な立場で参加する。調査計画の立案から調査の円滑な遂行、調査成果の取りまとめまでの一連の方法を修得することを目標とする。あわせて、フィールドワークに参加している博士前期課程の大学院生及び学群生を指導し、調査指導者として必要な実践的能力を養うことを目標とする。 | 対面                      |
| OBBADL6 | 民俗学・文化人類学研究実習A | 3    | 2.0 | 1      | 春C   | 応談  | 木村 周平, 徳丸 亜木, 武井 基晃, 中野 泰, 渡部 圭一 | 1年次生を対象として、民俗学・文化人類学領域全教員による指導のもと、博士論文作成に向けてフィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査に主体的に関わり、調査と研究の方法全般についてより高度な訓練を行う。                            | 02DC76Lと同一。対面（オンライン併用型） |

|         |                |   |     |   |    |    |                                  |   |                             |
|---------|----------------|---|-----|---|----|----|----------------------------------|---|-----------------------------|
| OBBADL7 | 民俗学・文化人類学研究実習B | 3 | 2.0 | 1 | 秋C | 応談 | 木村 周平, 徳丸 亜木, 武井 基晃, 中野 泰, 渡部 圭一 | 1年次生を対象として、民俗学・文化人類学領域全教員による指導のもと、博士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査、本調査、事後学習会に主体的に関わることにより、特定地域のフィールドワークとその報告、フィールドワークの実務、およびフィールドワークの指導方法を学ぶ。研究テーマに即したレポートや論文の執筆を課す。 | 02DC76Mと同一。<br>対面(オンライン併用型) |
|---------|----------------|---|-----|---|----|----|----------------------------------|---|-----------------------------|